

令和3年9月22日  
愛媛大学

## 愛媛大学新施設 「E.U. Regional Commons」の建設と愛称の募集 (記者説明会の開催)

このたび、愛媛大学城北キャンパス（松山市文京町）に、教育、研究、地域貢献、国際交流、健康医療などの幅広い分野において、地域のステークホルダーや学生・留学生、教職員などの全ての関係者が出会い交流する場として、新しい施設「[E.U. Regional Commons（イー・ユー・リージョナルcommons）](#)」（鉄骨造3階建て）を建設します。本施設は、本学の第二の正門として「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能でシンボリックな建物となる計画です。

また、本施設が地域のみなさん及び本学関係者に親しみをもって利用していただけるよう、[施設の愛称を募集](#)します。

つきましては、下記のとおり記者説明会を実施しますので、是非取材くださいますよう、お願いいたします。

### 記

日 時：令和3年9月28日（火） 14時00分～

場 所：愛媛大学本部 5階 第1会議室（松山市道後樋又10番13号）

- 次 第：1. 出席者紹介  
2. 学長挨拶  
3. 概要説明  
4. 質疑応答

出席者：愛媛大学 学長

にしな ひろしげ  
仁科 弘重

愛媛大学 副学長（広報担当）

いまむら たけし  
今村 健志

### <お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は、9月27日（月）までに電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。

※送付資料3枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学総務部広報課

TEL：089-927-9022

Mail：koho@stu.ehime-u.ac.jp

# 愛媛大学新施設

## 「E.U. Regional Commons(イー・ユー・リージョナルcommons)」の建設と愛称の募集

■施設名称：E.U. Regional Commons (イー・ユー・リージョナルcommons)

■建物概要：鉄骨造3階建て 建築面積：267.56㎡ 延べ面積729.27㎡

■建設場所：愛媛大学城北キャンパス (松山市文京町)

<外観イメージ>

<内観イメージ>



## ■目的・コンセプト：

愛媛大学は、四国最大の総合大学であり、「地域における知の拠点」として様々な活動を展開しています。組織的には、それぞれの学術領域の教育研究を担う7つの学部と、地域にある大学としての機能を担う4つの機構（教育・学生支援、先端研究・学術推進、社会連携推進、国際連携推進）とによって地方大学の役割を果たしてきました。

E.U. Regional Commons は、教育、研究、地域貢献、国際交流、健康医療などの幅広い分野において、学生・留学生・教職員・地域ステークホルダーなどの全ての関係者が「集い、考え、学び、応える」イノベーション拠点として、以下の活動を展開することとしています。

- ①活発な交流や対話、学びを求める人々が自由に集い、新たな価値や出会いを誘発する開かれた場を企画・展開します。
- ②社会的ニーズの高い情報のみならず正確かつ信頼できる成果に基づき、愛媛大学がもつ知の財産を地域に発信・還元します。
- ③地域課題を解決し Sustainable な社会に向けて、知恵と技術を共有するコミュニティーを創出し、Resilient な活動拠点を形成します。地域との連携を強化・推進します。

これらの活動を通じて本拠点は、多様なパートナーシップのもと、地域との共同プロジェクト・共同研究の推進や地域連携の活性化・強化を図ることで、地域からの揺るがない信頼に応えて参ります。

E.U. Regional Commons は、本学の第二の正門として「地域」と「愛媛大学」をつなぐ多機能でシンボリックな建物となります。

## ■愛称の募集：

E.U. Regional Commons が、教育、研究、地域貢献、国際交流、健康医療などの幅広い分野において、学生・留学生・教職員・地域ステークホルダーなどの全ての関係者が「集い、考え、学び、応える」イノベーション拠点として、地域のみなさん及び本学関係者に親しみをもってもらえるよう「愛称」を募集します。

- |       |  |
|-------|--|
| 募集期間  | 令和3年9月28日（火）～ 令和3年11月26日（金）                                |
| 応募方法  | Web 応募により受付（9月28日に本学 Web サイトに募集要項を掲載予定）                    |
| 発表・表彰 | 令和3年12月頃、本学 Web サイトで発表<br>令和4年 4月に実施予定のオープニングセレモニーにて表彰式を実施 |

■建物の機能：

1階 地域交流スクエア(仮称)

- 地域への情報発信の最前線「身近な生活科学情報から先進的な学術研究情報まで」
- オープンスペースとして利用「市民・学生・教職員が自由に集い価値を共創する場」
- イベントスペースとして利用「様々な企画を通して活発な交流と対話を誘発する場」

具体的な機能及び活用シチュエーション：

- ・情報発信の最前線を担う多彩なサイネージ設備（屋内4面ビジョン）
- ・来場者が大学に関する様々な情報を得られるラウンジ
- ・屋内4面ビジョンを活用したオンライン会議やワークショップ
- ・市民、学生、教職員、地域ステークホルダーが集うミーティングスペース
- ・プレスリリース、セレモニー、シンポジウムなどの50名程度までの中規模イベント
- ・大学施設のワンストップでの案内機能
- ・昼食時（11:00～13:00（仮））の飲食可能な休憩場所〔屋外は開放〕

◎大学広報の拠点として広報課を設置

2階 メディアフロント(仮称)

- 聴衆とのインタラクションが可能なセミオープンスタジオ
- DXプラットフォーム（撮影・収録・編集など制作および配信・アーカイブの拠点）

具体的な機能及び活用シチュエーション：

- ・デジタル技術を活用した多地点シンポジウムのファシリテーション
- ・セミオープンスタジオを活用した制作過程の公開
- ・インタラクティブなコンテンツ制作（1F参加者、2Fギャラリー）
- ・屋外外壁ビジョンと屋内4面ビジョンへの放映
- ・学生のデジタル技術やネットワーク技術に関する実験・実習の場
- ・アトリウムを通した1階スペースと2階スタジオ間のインタラクション。

3階 地域貢献ファクトリー(仮称)

- 地域課題解決のためのコミュニティーを創出し、知恵と技術を共有するコワーキングスペース

具体的な機能及び活用シチュエーション：

- ・多様なライフステージやライフスタイルに応じたリカレントプログラムを実施
- ・愛媛県内の大学生及び大学院生が集う「えひめ学生起業塾」の活動拠点
- ・学内外へのSDGsの推進・普及に関する情報発信基地
- ・地域の様々な課題解決に向けて、共に考え共に行動する地域協働センターの活動拠点